

海上の森自然観察会

テーマ 冬芽を観察しよう

日時 2014年1月18日(土)10:00~14:30(晴)

参加者 一般:1名(子ども0) 指導員:9名

冬ならではの観察ということで、テーマは冬芽です。前夜印刷しておいた資料を持って来るのを忘れたため、ルーペを片手に鱗状の覆いを持つ鱗芽と葉がむきだしの裸芽のいずれに該当するかを中心に観察して回りました。裸芽とはいっても細かな毛が生え、葉脈がほとんど分からず判定が難しいものがあり、一方、アオギリの冬芽は鱗片に細かな毛が生え、一見すると裸芽かと見間違いう形状です。そういうものには「冬芽ハンドブック」が頼りでした。



(観察会のようす)

エゴノキには大きな冬芽の下側に小さな副芽が並んで付いています。ハクウンボクの冬芽も同じ構造で、同じエゴノキ科の植物であることがよく分かりました。

四ツ沢から物見山登山道を鎖の所で左折し、海上の里のサテライトを通過して大正池まで行って里に引き返し、多度神社横の道を通って駐車場に戻るコースを歩きましたが、この間で観察した主な冬芽は次のものです。

鱗芽：コバノガマズミ、ミヤマガマズミ、キハギ、マルバアオダモ、ウリカエデ、カマツカ、

コバノミツバツツジ、フジ、リョウブ、サワフタギ、タカノツメ、アカメヤナギ、ナガバノコウヤボウキ、アオギリ、ケケンポナシ、ハリギリ、ヤブデマリ、ナガバモミジイチゴ、キリ、ゴンズイ、クロモジ、ハリエンジュ、エンコウカエデ、キブシ、裸芽：エゴノキ、オオカメノキ、ムラサキシキブ、ヤマハゼ、ヌルデ、ムクゲ、アカメガシワ、ハクウンボク、クサギ、隠芽：ハリエンジュ

冬芽を観察していて気づいたことですが、ナガバノコウヤボウキ、クサギ、ハリエンジュなどは、春に若い枝と交代するためでしょうか、枝の多くを枯らしていたことです。

冬芽のほかにマルバノホロシやヒヨドリジョウゴの赤い実、スズカカンアオイの花、ヤマウグイスカグラの蕾などを見ることができました。

また、野鳥はこの時期としては少ないような感じでしたが、ルリビタキやメジロ、エナガ、シジュウカラなどを見ることができました。



(リョウブの冬芽)

(報告：齋竹善行)